

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和3年5月に全国学力・学習状況調査が実施されました。市内の小
学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒がこの調査を実施しました
ので、この結果を公表いたします。

白井市教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生
徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、そ
の改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習
状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関す
る継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 白井市における調査の実施状況

(1) 調査期日

令和3年5月27日（木）

(2) 調査対象

小学校第6学年，中学校第3学年の全児童生徒

(3) 調査内容

小学校第6学年

国語

算数

質問紙調査（学習意欲・学習環境・生活面等に関する調査）

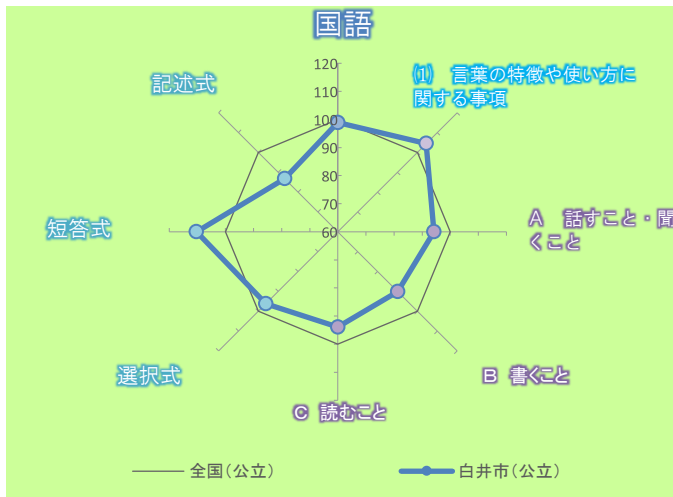
中学校第3学年

国語

数学

質問紙調査（学習意欲・学習環境・生活面等に関する調査）

<小学校国語>



国語

正答率は、全国の正答率とほぼ同じである。短答式で回答する問題においては、全国の正答率を上回っている。また、無回答率がほぼすべての問題において全国平均より低く、意欲をもって取り組もうとしていることが分かる。

言葉の特徴や使い方に 関する事項

- ◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- ◇思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができる。
- ◆文の中における主語と述語の関係を捉えることに課題がある。

話すこと 聞くこと

- ◇資料を用いた目的を理解することができる。
- ◆目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの内容を考えることに課題がある。
- ◆目的や意図に応じ、資料を使って話すことに課題がある。

書くこと

- ◇自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
- ◆目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

読むこと

- ◇文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができる。
- ◆目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることに課題がある。
- ◆目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することに課題がある。

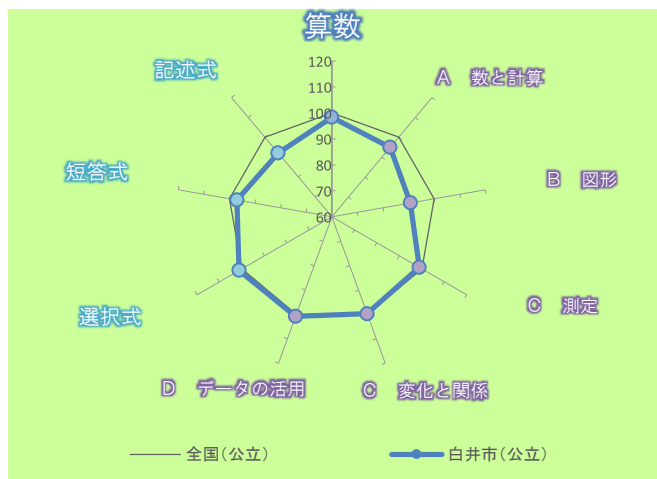


授業改善のポイント

- ◇→概ね身につけている。
- ◆→課題がある。

- 主語と述語の関係を捉えるためには、自分で書いた文章を読み返す際に、読み手の立場に立って言葉の使い方を確認する習慣をつけるよう指導していく。
- 表現を工夫するためには、発表を相互に見合ったり、話す様子や聞き手の様子を動画で撮影したりして、自らの表現や聞き手の反応を客観的に捉えることができるように指導していく。
- 自分の考えが伝わるように書くために、目的や意図に応じて、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合を自ら判断して書くことが重要であることを踏まえて、事実と感想、意見とを区別して書くことができるよう指導していく。
- 要約する目的を意識して、文章全体から内容の中心となる語や文を選び、要約の分量などを考えて要約することができるように指導していく。

<小学校算数>



算数

正答率は、全国の正答率とほぼ同じである。国語科同様、無回答率がほぼすべての問題において全国平均より低く、意欲をもって取り組もうとしていることが分かる。

数と計算	<p>◇商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算することができる。</p> <p>◆小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述することを理解する必要がある。</p>
図形	<p>◇複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる。</p> <p>◆三角形の面積の求め方について理解する必要がある。</p> <p>◆複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述する方法を理解する必要がある。</p>
測定	<p>◇条件に合う時刻を求めることができる。</p> <p>◇複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる。</p> <p>◆二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することを理解する必要がある。</p>
変化と関係	<p>◇速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる。</p> <p>◇速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる。</p> <p>◆速さを求める除法の式と商の意味を理解する必要がある。</p>
データの活用	<p>◇棒グラフから、数量を読み取ることができる。</p> <p>◇棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。</p> <p>◇データを二次元の表に分類整理することができる。</p> <p>◇集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきか判断することができる。</p> <p>◆帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することを理解する必要がある。</p>

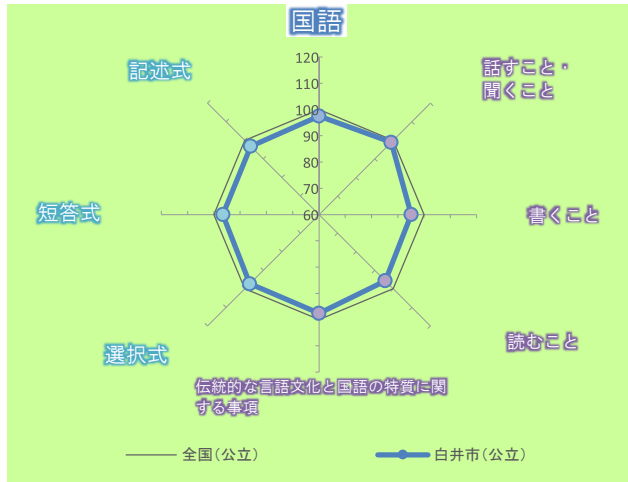


授業改善のポイント

◇→概ね身につけている。
◆→課題がある。

- 整数を用いた倍の意味を捉えなおし、小数を用いた倍についても、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味について理解できるようにし、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目できるように指導する。
- 図形を構成する要素などに着目し、面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるように指導する。
- 速さを比べる場合には、伴って変わる二つの数量に着目し、それらの関係を用いたり、単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解し、単位量当たりの大きさをを用いて比べたりできるように指導する。
- 日常生活の中で、主体的に問題を見いだして情報を収集し、表やグラフなどに整理して考察したり、考察した結果から新たな問題を見だし、さらに情報を収集し表やグラフなどに整理し直して考察したりする活動を取り入れる。

< 中学校国語 >



国語
正答率は、全国の正答率とほぼ同じである。領域別では、話すこと・聞くことにおける平均正答率が特に高い。

話すこと・聞くこと

- ◇話合いの話題や方向を捉えることができる。
- ◇質問の意図を捉えることができる。
- ◆話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を捉えることに課題がある。

書くこと

- ◇伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができる。
- ◆書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことに課題がある。
- ◆書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えることに課題がある。

読むこと

- ◇場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することができる。
- ◆文脈の中における語句の意味を理解することに課題がある。
- ◆文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに課題がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇文脈に即して漢字を正しく読むことができる。
- ◆相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。

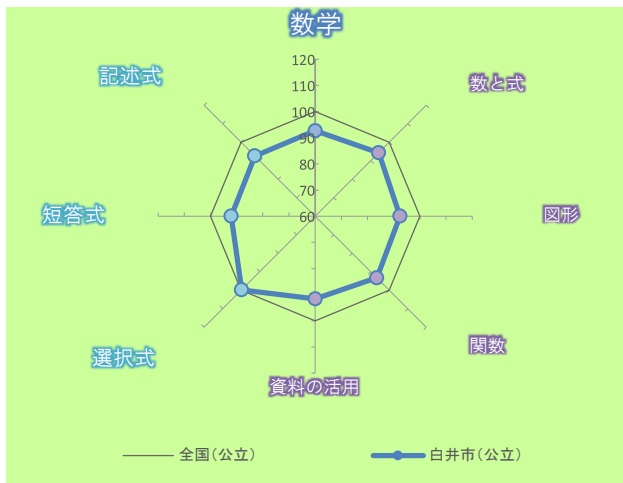


授業改善のポイント

- ◇→概ね身につけている。
- ◆→課題がある。

- 目的に沿って、互いの考えを伝え合ったり生かし合ったりする話し合いや議論、討論などの言語活動を通して効果的な指導を行う。
- 表記や語句の用法、叙述の仕方や目的に応じた表現になっているかなどを確かめることについて指導する。
- 文学的な文章を読んで考えたことなどを記録したり伝え合ったりする言語活動を通して読むことについて効果的に指導する。
- 敬語に関する個々の体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語の持つ働きを理解するように指導する。

< 中学校数学 >



数学
正答率は、全国の正答率をやや下回っている。問題形式としては、選択式の問題において全国の正答率とほぼ同じである。

数と式

- ◇目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- ◆整式の加法と減法の計算に課題がある。
- ◆具体的な場面で、一元一次方程式をつくることに課題がある。

図形

- ◇扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している。
- ◆平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの原因を説明することに課題がある。
- ◆錯覚が等しくなるための2直線の位置関係を理解することに課題がある。
- ◆ある条件でいつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することに課題がある。

関数

- ◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。
- ◆関数の意味を理解することに課題がある。
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

資料の活用

- ◇ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる。
- ◆与えられたデータから中央値を求めることに課題がある。
- ◆データの傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

授業改善のポイント

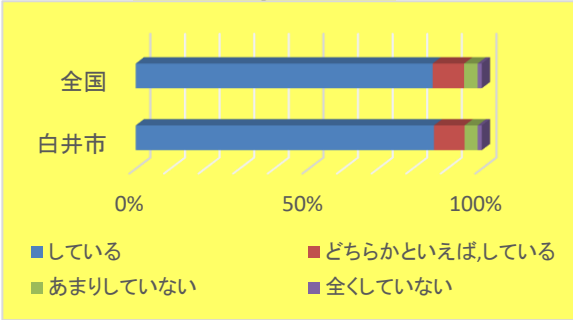
- ◇→概ね身につけている。
- ◆→課題がある。

- 事柄が一般的に成り立つ理由を、筋道を立てて説明できるようにするために、成り立つと予想した事柄について、文字式や言葉を用いて解決するための見通しを持ち、その見通しを基に根拠を明らかにして説明する活動を取り入れる。
- ある条件の下で図形を動かしたとき、常に成り立つ事柄を見だし、それを数学的に表現する活動を充実させる。
- 関数において用語の意味を定義づけ、正確に理解させる。また、様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実させる。
- 日常生活や社会における問題を取り上げ、その問題の解決のために収集したデータの傾向を的確にとらえる活動を取り入れる。

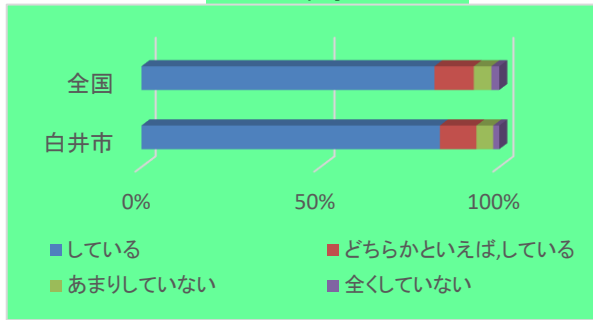
1 生活習慣について

朝食を毎日食べていますか。

小学生

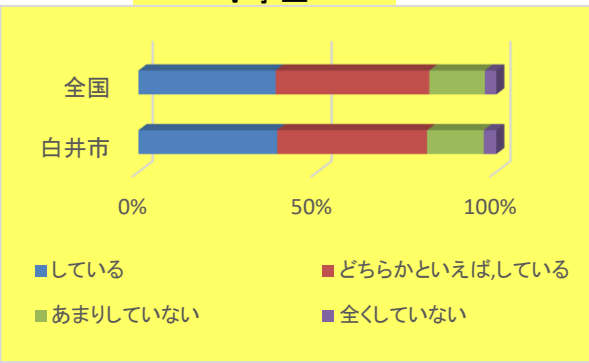


中学生

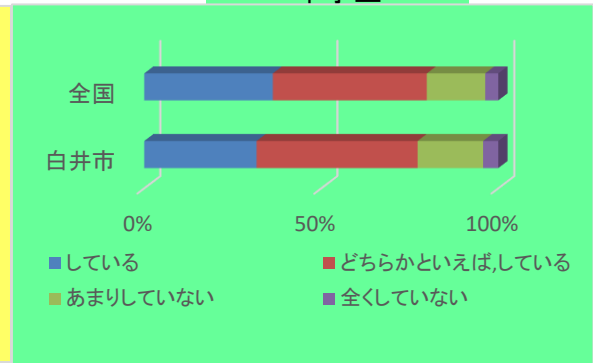


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

小学生



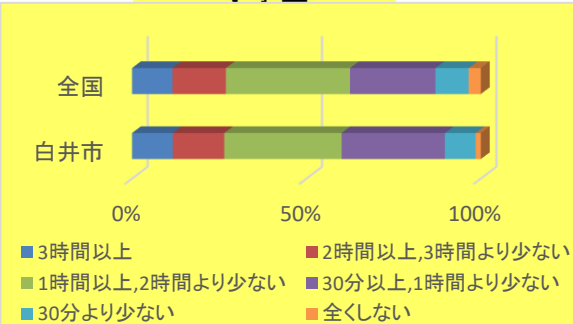
中学生



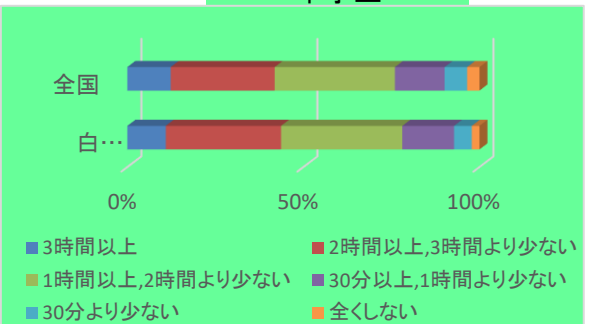
2 家庭学習について

学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む）

小学生

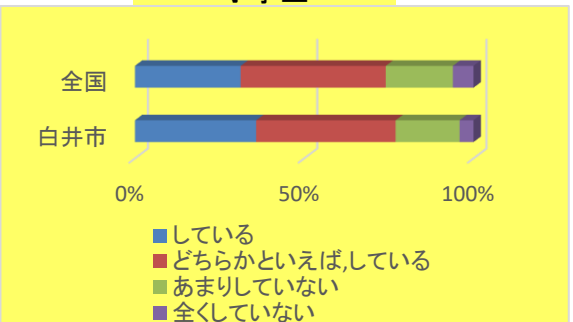


中学生

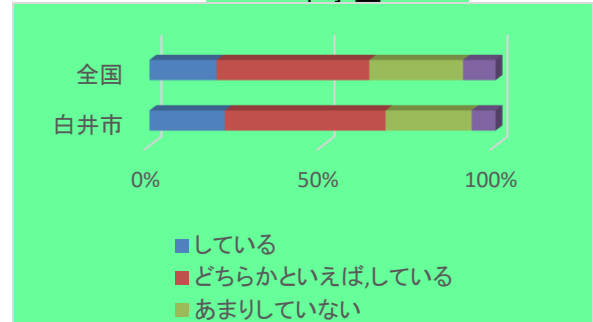


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む）

小学生



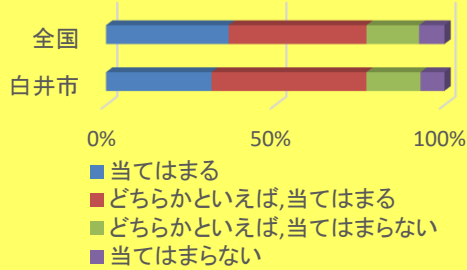
中学生



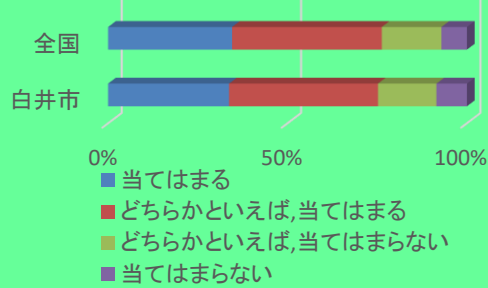
3 意欲・自己肯定感について

自分には、よいところがあると思いますか。

小学生

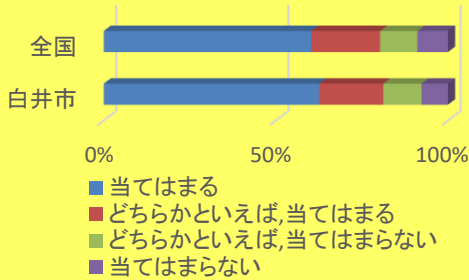


中学生

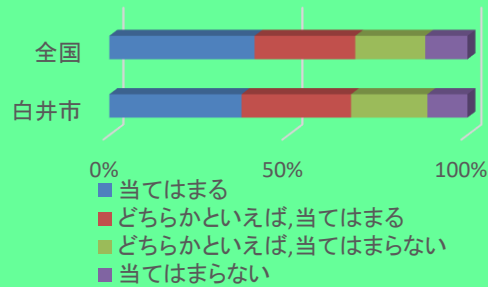


将来の夢や目標を持っていますか。

小学生



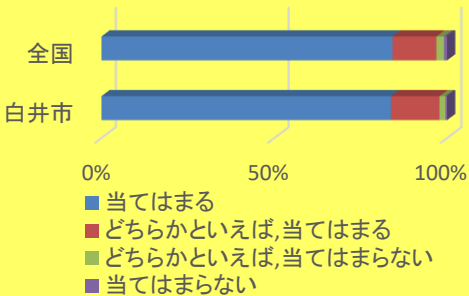
中学生



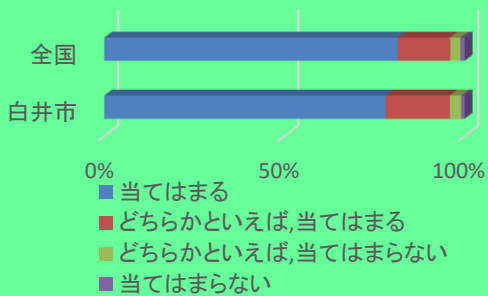
4 人間関係について

はじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

小学生

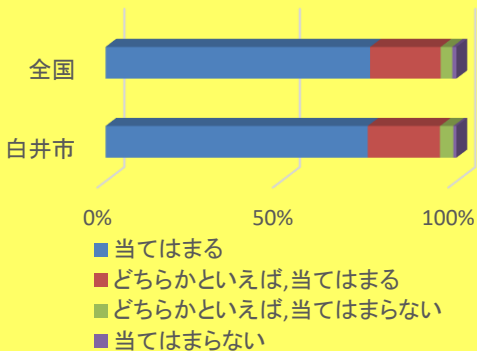


中学生

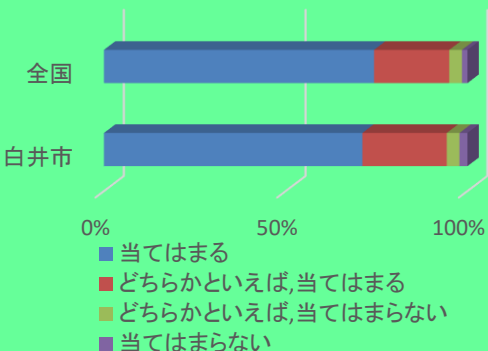


人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学生

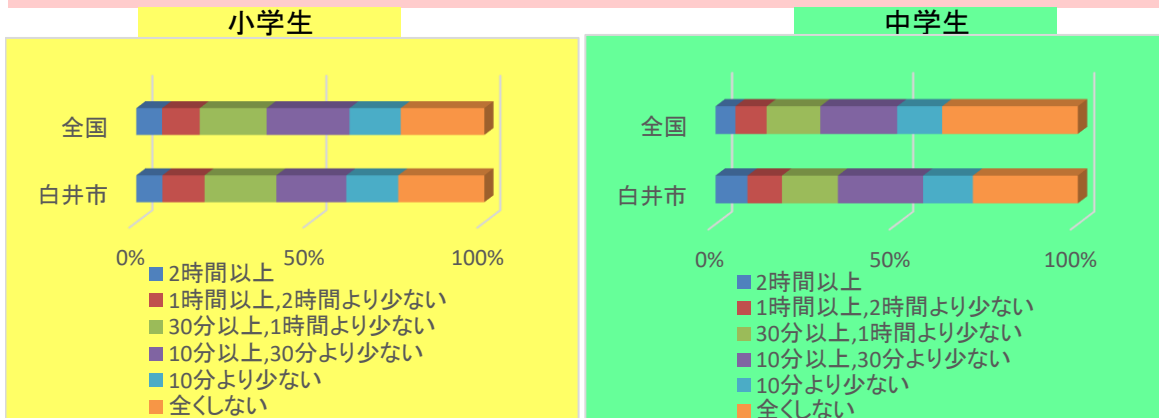


中学生



5 読書について

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



【白井市の子どもの様子】

○朝食は、児童で88%、生徒は83%が毎日とっている。一方、就寝時刻については、決まった時刻に寝ている児童は、38%、生徒が31%であった。朝食をしっかりとらないことや就寝時刻が不安定であることは、児童生徒の健康に影響を及ぼす可能性がある。今後も、自身の健康に意識するための健康教育や食育を家庭と連携して推進することが必要である。

○小学校では、家庭学習の時間を全国平均とほぼ同じくらいとっている。また、家で自分で計画を立てて勉強をしていると回答した児童生徒の割合が、全国平均と比べて高い。これは、内発的動機付けを意識した授業改善の成果と考えられる。今後も家庭と連携しながら、家庭学習の大切さを子どもたちにも保護者にも伝えていく。

○小学校においては、将来の夢や目標を持っている児童の割合が全国平均を上回っている。今後もキャリア教育を充実させ、中学校の生徒たちへもつなげたい。

○77.0%の児童が、75.2%の生徒が自分を肯定的にとらえている。日本人は自己肯定感が低いと言われている。学校生活において、一人一人の子どもの活躍する場を確保し、自己肯定感・自己有用感を高めていくことが大切である。

○白井市では、「自ら本に手を伸ばす子どもの育成」を目指し、各学校に読書活動推進補助教員を配置している。この効果が出ているようで、白井市の子どもたちが読書をし